財政状況

指標からみる

平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定され、市の財政状況を判断するため新たに設けられた健全化判断比率及び資金不足比率を決算時に算定し、住民の皆さんに対し公表することが義務づけられています。

●健全化判断比率

①実質赤字比率
→一般会計等の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標。

②連結実質赤字比率
→全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標。

③実質公債費比率
→一般会計等の借金の返済額等だけでなく、公営企業会計等に対する繰出金などを含めた市全体の借金の返済額等が標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標。

④将来負担比率
→将来負担すべき実質的な負債が標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標。

これら4つの比率には、「早期健全化基準」（黄信号）、「財政再生基準」（赤信号）が設けられており、基準を一つでも上回ると財政健全化計画もしくは財政再生計画を策定し、国・県の関与のもと財政健全化に取り組むことになります。平成21年度決算では、いずれの指標においても早期健全化基準・財政再生基準を下回る結果となっています。

●資金不足比率

公営企業の経営健全化を判断する指標で、資金不足額（一般会計などの実質赤字に相当する額）が営業収益等に占める割合をいいます。健全化基準（20％）以上となった場合には、経営健全化計画を策定し経営の健全化に取り組まなければなりません。

平成21年度決算では、資金不足が生じた会計はなかったため、該当はありません。

■養父市における健全化判断比率の状況

	21年度決算による率	早期健全化の基準	財政再生の基準
実質赤字比率	—	12.94	20.0
連結実質赤字比率	—	17.94	40.0
実質公債費比率	21.6	25.00	35.0
将来負担比率	187.6	350.00	—

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、赤字額がなく比率が算定されないため「－」としています。

■養父市における資金不足比率の状況

会計名称	21年度決算による率	経営健全化の基準
水道事業	—	20.0
氷ノ山国際スキー場事業	—	20.0
農業共済事業	—	20.0
簡易水道事業	—	20.0
下水道事業	—	20.0

※資金不足が生じていない会計は、比率の算定がされないため「－」としています。

借金と貯金の状況

■市の借金の状況（市債年度末残高、全会計分）

年度	残高	市民1人当たりの残高
17年度	671億7,387万円	2,300,000円
18年度	664億1,262万円	2,306,000円
19年度	621億5,609万円	2,192,000円
20年度	581億6,822万円	2,086,000円
21年度	543億8,166万円	1,976,000円

●借金の状況

養父市の全会計の借金の残高は、543億8,166万円で、平成20年度に比べ、約37億8,656万円減少しています。平成17年度の671億7,387万円をピークに減少しており、これは、平成17年度に策定した行政改革大綱に沿って建設事業を抑制し、借入金を大幅に抑えたことと、毎年多くの繰上償還を実施しているためです。

■市の貯金の状況（財政調整基金の年度末残高）

年度	残高	市民1人当たりの残高
17年度	24億9,586万円	85,000円
18年度	24億3,333万円	84,000円
19年度	20億9,704万円	74,000円
20年度	12億9,095万円	46,000円
21年度	14億3,699万円	52,000円

●貯金の状況

市の貯金のことを「基金」といいます。なかでも、予期しない収入減少や支出増加に備えるための基金が「財政調整基金」です。

平成20年度に比べ、約1億4,604万円増額しています。

実施した主要事業

お金の使い道

◆議会費
▽議員報酬等 9，134万円

◆総務費
▽定額給付金給付事業費 4億5，448万円
▽ふれあい交流施設整備事業費 4，999万円
▽生活バス路線確保対策事業 9，562万円
▽定住促進対策事業 2，295万円
▽CATV運営事業 1億1，503万円

◆民生費
▽保育所運営費 4億3，862万円
▽自立支援給付費 3億3，328万円
▽児童手当支給費 1億8，000万円
▽医療費助成事業（老人、障害者、乳幼児等） 1億4，877万円

◆衛生費
▽公立八鹿病院負担金 9億9，211万円
▽ごみ処理施設管理費 1億529万円
▽ごみ収集事業 6，345万円
▽健康増進事業 4，148万円

◆農林水産業費
▽有害鳥獣防護対策事業 2，281万円
▽緊急防災林整備事業 1億417万円
▽南但馬有機集配施設整備事業 3，049万円
▽地籍調査事業 9，012万円

◆商工費
▽観光施設管理費 4，131万円

◆土木費
▽道整備交付金道路整備事業（市道鵜縄線等3路線） 8，913万円
▽市営住宅管理事業 2，922万円
▽市単独道路整備事業（市道 若杉線等11路線） 1億7，208万円

◆消防費
▽消防団関係事業 8，915万円
▽消防施設整備事業 1億2，493万円

◆教育費
▽八鹿青渓中学校建設事業 10億6，091万円
▽遠距離児童・生徒通学助成費 7，537万円

◆災害復旧費
▽災害復旧事業費 1億5，814万円

平成22年4月に開校した八鹿青渓中学校

第三セクターの決算状況

第三セクターとは、地方公共団体が出資などをしている民法法人および商法法人で、養父市には4つの第三セクターがあります。

その内、市の出資割合が50％以上で、市議会に報告しなくてはならない2法人の決算状況をお知らせします。

養父町開発株式会社

- 設立／平成5年12月
- 資本金／8，500万円
  （うち市出資金／4，250万円）
- 損益計算書の要旨
  （平成21年7月1日～22年6月30日）

項　目	金額（単位：千円）
売上高	93，376
売上原価	66，865
販売費及び一般管理費	19，488
営業利益	7，023
営業外収益	1，061
営業外費用	3，300
経常利益	4，784
特別損失	60
税引前当期利益	4，724
法人税等	2，256
当期純利益	2，468

- 長期借入金残高　23，375千円
- 繰越利益剰余金　6，055千円

株式会社おおや振興公社

- 設立／昭和62年4月
- 資本金／5，700万円
  （うち市出資金／5，625万円）
- 損益計算書の要旨
  （平成21年4月1日～22年3月31日）

項　目	金額（単位：千円）
売上高	43，543
売上原価	14，400
販売費及び一般管理費	34，948
営業利益	△5，805
営業外収益	1，847
営業外費用	0
経常利益	△3，958
特別利益	0
税引前当期利益	△3，958
法人税等	222
当期純利益	△4，180

- 長期借入金残高　0千円
- 繰越利益剰余金　△535千円